自動車総連ニュース

２０２５年６月２日
発行Ｎｏ．１１１７
自動車総連
政　策　局

企業が国際市場で持続的に経済活動を行うために「国際標準戦略」の取り組みを日本はもっと強化していくべき！

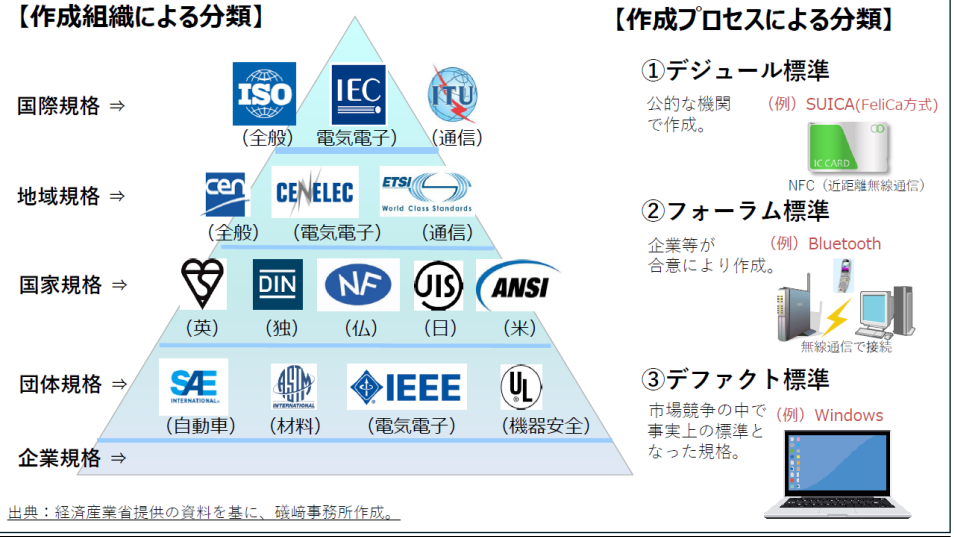
5/20経済産業委員会
いそざき哲史議員

国際市場で製品等を展開するには、国際規格への適合が必須！

国際的な規格、いわゆる**「国際標準」のルールづくりに日本が関与していくことで、日本企業の技術や品質を世界に発信**していけます。

また、**国際的なルール（国際標準）があると、貿易がしやすくなったり、コスト低減にも寄与**するので、中小・中堅含めた企業の海外進出などの後押しにもなるんですよ。

■（参考）標準化の種類



出典：経済産業省提供の資料を基に、磯崎事務所作成。

各国（EU、米国、中国）積極的に取り組んでいる。日本は、6月を目処に19年ぶりに新たな標準化戦略の策定をしていくが、もっと強力な取り組みを！！

いそざき哲史
参議院議員

- **▶国際標準化戦略の「担い手」となるアカデミアの人材育成を進めるべき！**
- **▶企業の経営者への理解を深めると同時に、交渉人材育成のために国際会議参加を増やすべき！**
- **▶グローバルな現地交渉を進めるためにはネットワークを強化していくことも必要！**

いそざき議員による、質疑の詳細は裏面をご覧ください！
（国会中継の動画でも確認できるよ）

■（参考）国際標準化に関する各国（EU、米国、中国）の取り組み

EU	・EU Strategy on Standardization（2022） ・EUという連合体だからこそ「規範力」「多国間主義」の国際標準をリード、など
米国	・National Standards Strategy for CET（2023） ・国家安全保障戦略(2022)と連携し「重要、新興技術」の標準化対応、など （特にIoT/スマートインフラ、サイバーセキュリティ分野で中国等との競争に力点）
中国	・中国標準2035（国家標準化発展綱要、2021） ・標準化の対外開放レベルの向上（ISO積極参加「一対一路連携」、 試験認証など標準化サービス育成、など

出典：内閣府知的財産戦略推進事務局資料より抜粋

いそざき哲史
参議院議員

▶ 日本の国際標準化戦略の「担い手」強化

・**アカデミア/学会等で「国際標準化」が評価されないため、人材が世の中に出てこない。**「**産学官」（産業、学会、行政）で協力**し、企業内及びアカデミアでの人材育成を強力に進めていくことが重要。

・**同様に、企業でも標準化に対する社内評価が無いため、働く人のモチベーションにつながらない。経営者への働きかけは「社内評価」の仕組み化もセットでお願いしたい。**

【武藤経済産業大臣】の答弁は動画をご視聴ください

▶ 国際標準の交渉人材の育成に向けた環境整備

【いそざき哲史 参議院議員】

・**「現場で交渉する人材の育成」も重要。**経験がモノをいう面もあるため、海外出張の頻度や人数規模の拡大、国内での国際会議の開催など、**予算取り含め取り組んでほしい。**

・また人脈づくりには、出張だけではなく欧州などの現地に拠点をつくるということが重要。日常的に現地の交渉人と接点を持てる拠点の確立が、本当の意味でネットワーク構築につながると考える。

【経済産業省 今村審議官】の答弁は動画をご視聴ください

🚗 🚙 🚌 **本件に関するお問い合わせは自動車総連 政治・政策局までご連絡ください。** 🚚 🏍 🚗

本質疑内容は、インターネット審議中継にて録画をご覧になれます。
https://www.webtv.sangiin.go.jp/webtv/index.php